

IV 宮崎県特別支援教育研究連合 各エリア部会

令和5年度 宮崎・東諸県エリア部会事業報告

1 研究主題（テーマ） 「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 主な研究の内容・活動の内容

(1) 組織 ～ 宮崎地区特別支援教育研究会と東諸県地区特別支援教育研究会、宮崎市内の特別支援学校5校（明星視覚支援学校、赤江まつばら支援学校、みやざき中央支援学級、みなみのかぜ支援学校、清武せいりゅう支援学校）

(2) 活動計画

期 日	事業名	活動の内容	会 場
6月13日午後	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第1回役員会	・令和4年度の活動報告 ・令和5年度の計画・予算検討	ZOOM
7月28日午前	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第2回役員会	・研修会の事前打ち合わせ(小中学校の役員のみ)	佐土原総合文化センター
7月28日午後	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第1回研修会	・宮崎市小中特研部会、 県情緒障がい教育研究部会との合同研修会	佐土原総合文化センター
12月1日午後	◆県特研連宮崎・東諸県エリア部会 第3回役員会	・年間反省、事業・会計報告作成確認 ・次年度役員・役割分担等確認、事業計画案作成	佐土原総合文化センター

3 成果と課題

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大以前にほぼ戻り、制限なしで活動することができた。宮崎・東諸県エリア部会は、小中学校主催と特別支援学校主催を隔年で実施する形をとっており、本年度は小中学校主催で研修会を、県情緒障がい教育研究部会（県情研）、宮崎市小中特研部会と合同で実施した。前半は、県情研の今年度の九州大会の事前発表を行い、後半はテーマごとに分かれて、情報交換会を実施した。特別支援学級担当の先生方は一人で悩みながら日々の教育活動を行っており、日頃の悩みやいろいろな実践を聞く機会となり、とても有意義な時間となった。

来年度は、みなみのかぜ支援学校での研修会の予定である。

日南・串間エリア部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するための専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実

2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所
5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回日南・串間エリア部会役員会 ・ 総会、研修会について ・ 昨年度事業報告 ・ 今年度事業計画及び予算案について 	南郷 小学校
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回日南・串間エリア部会役員会 ・ 令和5年度日南・串間エリア部会について ・ 主な事業内容について ・ 今年度の日南・串間エリア部会総会について 	南郷 小学校
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度日南・串間エリア部会総会、研修会前日準備 	日南くろ しお支援 学校
8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度日南・串間エリア部会総会、研修会 ・ 日南・串間エリア部会総会 ・ 研修会（講演会）※ ZOOMによる研修 演題 「行動分析学に基づく行動問題のある児童生徒への支援方法」 講師 宮崎大学教育学部 半田 健 准教授 	日南くろ しお支援 学校及び 各学校
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回日南・串間エリア部会役員会 ・ 研修会アンケート結果について ・ 教材購入、活用集作成について ・ 研修費の受領 	南郷 小学校
2月予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回日南・串間エリア部会役員会 ・ 活動内容、会誌、会計報告 ・ 令和6年度日南・串間エリア部会の活動について 	南郷 小学校

※ 12月1日 九特連福岡大会に ZOOM で参加

3 主な研究成果

本年度の総会・研修会は日南くろしお支援学校の食堂を会場とし、支援学校の会員は会場で、日南市と串間市の会員はそれぞれの学校での ZOOM 配信で行った。研修会では、宮崎大学の半田健准教授に「行動分析学に基づく行動問題のある児童生徒への支援方法」と題して講演していただいた。今回は、通常学級の中にも支援を必要とする児童生徒が在籍し、どのような支援を行えばよいか悩んでおられる先生方も多いという現状から講演内容を設定し、会員以外の先生方にも参加していただいたり、録画データを視聴して校内研修でも活用したりできるようにした。講演では、具体的な事例を挙げたり、演習を取り入れたりしていただいたことでより理解が深まったようである。

今後は、研修会で学んだことを各学校で実践するだけでなく、今年度作成予定の教材活用集を参考に支援の充実を図っていききたい。

西都・児湯エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「 一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実 」

2 主な活動内容

(1) 年間活動報告

- ① 役員会（年2回）運営及び会計業務
- ② 令和5年度宮崎県特別支援教育研究連合西都児湯エリア部会の企画
- ③ 令和6年度宮崎県特別支援教育研究連合西都児湯エリア部会の計画・検討

月	日	会議及び活動内容	県特研連関係
3	末	・事務局引継ぎ	
4	下旬	・第1回役員会の内容検討	
5	30		・第1回事務局会及び事務局連絡会 (オンライン)
6	6	第1回役員会 ・令和5年度役員の確認 ・令和4年度事業報告、収支決算報告 ・部会会則及び部会の運営に関する確認 ・令和5年度事業計画、収支予算案審議 ・令和5年度研究大会に関する検討	
8	7	西都・児湯エ リア部会研究 大会 (台風のため 中止)	<研究発表> ○ 県立児湯るびなす支援学校 高橋 美百 指導教諭 <講演> ○ 都城市立沖水小学校 石本 隆士 指導教諭
12	下旬	・令和5年度収支決算・会計監査	
1			・第2回事務局会
2	15	第2回役員会 ・令和5年度事業報告、収支決算報告審議 ・令和6年度事業計画案、収支予算案審議 ・西都・児湯エリア部会の運営に関する検討 ・令和6年度役員の確認 ・令和5年度宮崎県特別支援教育研究連合研 究大会課題まとめ	
2			・第3回事務局会及び事務局連絡会
3	末	・事務局引き継ぎ	

3 主な研究成果と課題

8月の西都・児湯エリア研究大会が台風により中止になったため、研修の機会が得られなかった。県特研連の組織改編を踏まえ、次年度以降の西都・児湯エリア部会の運営や研究大会の在り方について熟考していく必要がある。役員会での審議内容については事務局から各地区へ早めに連絡し、協議できるようにすることが課題である。

都城・北諸県エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「小中学校における実態に応じた指導はどうあればよいか」

2 活動報告

(1) 年間活動報告

月	日	会の内容	場所
5		○ 支援学級の調査（事務局）	都城市立東小学校
6	1（木）	○ 事務局・役員会 ① 令和5年度総会資料について ② 各地区役員引き継ぎ ③ 事業計画	都城市立祝吉小学校
7	10（月）	○ 令和5年度第1回総会	早水体育文化センター
8		○ 特別支援教育に関する実態調査（研修部）	Google フォーム利用
10	20（金）	○ 合同作品展に向けての役員会 ・事前打ち合わせ	都城市立祝吉小学校
11	16（木）	○ 授業研究会 ・実践報告、協議、連絡	都城市立姫城中学校
1	18（木） 19（金）～ 22（月）	○ 合同作品展前日準備 ○ 合同作品展 ○ 合同作品展・作品撤去	ウェルネス交流プラザ
2		○ 第2回理事会・事務局会 ・年間活動の反省及び次年度に向けての協議 ○ 第2回総会 ・本年度のまとめ、課題の共有	都城市立祝吉小学校

3 主な研究成果と課題

(1) 成果

- 市町合同の研究会や総会を開催し、情報の共有や協議ができた。
- 次年度の夏季研修の内容をニーズに合ったものにするため、本年度はアンケートを利用して地区内の特別支援教育に関する調査を実施し、集約・共有を行った。
- 授業研究会では、自立活動や生活単元学習の実践報告がなされ、指導についての情報共有ができた。協議では、小・中学校と障がい種別に分かれて、日頃の学習の進め方などについて意見交換を行うことができた。

(2) 課題

- 実態調査から、小中学校の先生方が担当の児童生徒の学習指導について課題を抱えていることが分かった。また、自立活動や生活単元学習や日常指導についての悩みも多く上がっていた。悩みや課題の解決につながる研修会や講習会等を計画していく必要がある。
- 役員や係分担ができないまま新年度を迎えるため、引継ぎや打ち合わせの開催が難しかった。本年度のうちに課題となる点をまとめ、次年度の計画の見通しがもてるように努めたい。

小林・西諸県エリア部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 活動内容

期日（曜日）	事業内容	場所
4月24日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回研修会（総会） <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画案及び予算案審議 ・ 役員選出（西諸特研役員） ○ 行事・活動の見直し案の承認 ○ 引継ぎ 	小林中央公民館
7月7日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画確認 ・ 第1回役員会 ※ 県特研連 小林・西諸県エリア部会の活動に向けての提案 	永久津小学校
7月27日（木）	○ 西諸県地区特別支援教育研究会と小林こすもす支援学校との第1回代表者協議	小林こすもす支援学校
9月12日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育講演会の役割分担、準備 	小林中央公民館
11月28日（火）	○ 第3回役員会	小林市民会館
12月12日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育講演会 	小林市民会館
2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西諸県地区特別支援教育研究会と小林こすもす支援学校との第2回代表者協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の活動計画の協議 	小林こすもす支援学校高等部
3月5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度反省並びに次年度計画案検討 	永久津小学校

3 本ブロック会の成果と課題

(1) 成果

- ア 12月12日（火）に、教育講演会を行った。講師には、小林市にある fine.lab の代表である森 億先生にお願いした。演題は、「自立ある教師生活を送るための脳活用術」とし、2時間の講演をして頂いた。子供との関係性がうまく構築できずに悩んでいた、子供の力を引き出せずに悩んでいた、子供に対して「怒る」「ペナルティー」しか指導の方法を知らず悩んでいる教師に対して、示唆を与えていただき、脳の特性と関連づけながら分かりやすく教えて頂いた。
- イ 西諸県地区特別支援教育研究会と小林・西諸県エリア部会のつながりを作るために、小林こすもす支援学校と協議を重ねていった。協議の中で来年度から、小中学校の特別支援教育担当者と、小林こすもす支援学校との夏季休業中の研究会を実施することが決まっている。また、それぞれの研修会に zoom 参加ができないかを協議中である。

(2) 課題

特別支援教育研究会の本来の意義に立ち返り「会員の資質向上」を目指し、小林市にあるこばやしこすもす支援学校と協力するために地盤固めを行っている。実際には来年度からの活動になるが、来年度からの活動が計画的に実施できるように準備を進めていきたい。

日向・東臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ） 「個に応じた教育的ニーズに応える特別支援教育の充実」

2 主な研究・活動の内容

(1) 組織

日向・東臼杵地区（日向、門川、入郷）の小・中学校の学校長、及び特別支援学級職員の
 会員、日向ひまわり支援学校長、及び職員

(2) 年間活動報告

期日	事業名	主な内容	場所
7月3日（月）	日向・東臼杵エリア部 会役員会	令和4年度事業報告 令和4年度決算報告・監査報告 令和5年度事業計画案 令和5年度予算案 県特研連組織、エリア部会規約他	日向ひまわり 支援学校 (対面・オンライン)
7月28日（金）	エリア部会研修①	外部講師を招聘しての研修 「特別支援教育における ICT 活用の考 え方について」 講師：兵庫教育大学 小川修史先生	日向市 中央公民館
12月13日（水）	エリア部会研修② 日向ひまわり支援学校 研究公開	県事業による研究公開の実施 未来を拓く！特別支援学校 「自立と社会参加」推進事業 ICTを活用した授業に関する研究	日向ひまわり 支援学校
令和6年 1月12日（金） ～19日（金）	なかよしアート展	各学校の児童生徒の作品紹介 学校紹介パネル展示	日向市 中央公民館
2月26日（月）	日向・東臼杵 エリア部会役員会	令和5年度事業報告 令和5年度決算報告・監査報告 令和6年度に向けて 令和6年予算案、他	日向ひまわり 支援学校

3 本エリア部会の成果と課題

(1) 成果

- エリア内の課題に着目した講師選定を行い、兵庫教育大学准教授 小川修史氏をお招きして、5年ぶりの対面研修を実施した。読み書きに困難がある子どもの疑似体験やスマートフォンを使ったチャットトークもあり、充実した研修となった。ICT活用を苦手と感じている参加者も多く見られたが、講演後は前向きな感想も聞かれ有意義な講演会となった。
- 事務局であるひまわり支援学校で開催された研究公開では、約70名の参加者の内、本エリア部会からは22名の参加があり、特別支援教育の学びの場となった。小中学校の参加者からは、公開授業で授業の実際を見学したり、ポスター発表で様々な実践を知ったりすることができたという意見が多数聞かれた。

(2) 課題

- 支援学校と小中学校との連絡手段が電話やFAXに限られるため、小中学校の代表者にメールを送信し、そこからの連絡となるため、役員会や研修会の周知案内に時間を要した。本年度、県内全ての校種でGoogleが整備されたことで、今後はそれらを有効に活用しながら進めていきたい。
- 年度が変わると支援学級の担当や役員の入替えが多いため、十分な引き継ぎが困難であった。

延岡・西臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

児童生徒の生きる力を育む指導の在り方
～教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について～

2 活動内容

期 日	事 業 名	主 な 内 容
6月16日（金）	第1回事務局会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の事業報告、決算報告 令和5年度活動方針・事業計画、予算案について 総会、夏季研修会について
8月 4日（金）	総会 （書面議決）	<ul style="list-style-type: none"> 前年度事業報告、決算報告 本年度事業計画、予算案等
8月28日（月）	夏季研修会	<ul style="list-style-type: none"> 講演 「特別支援教育に関わって ～具体的な事例を通して思うこと～」 講師 延岡市立延岡小学校 宮田雅子氏
10月 3日（火）	次年度研究大会 第1回実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> テーマ、講師、会場、日程等概要提案 今後の進め方説明
10月13日（金）	合同作品展 運営委員会①	<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの引継ぎ事項の確認 役割分担の確認等
11月21日（火）	合同作品展 実行委員会①	<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの引継ぎ事項の確認 係分担・係の内容の確認等
12月 5日（火）	次年度研究大会 第2回実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 一次案内の提案 役割分担決定 開会行事、閉会行事について
1月13日（土） ～14日（日）	合同作品展	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の幼児児童生徒の作品展
1月16日（火）	合同作品展 実行委員会②	<ul style="list-style-type: none"> 各係からの反省 次年度に向けて
2月下旬～3月上旬	第2回事務局会	<ul style="list-style-type: none"> 活動総括と次年度の活動計画について 次年度事務局の確認及び引継事項の確認等
3月 5日（火）	次年度研究大会 第3回実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況確認 決定事項及び検討事項の共有

3 本エリア部会の成果と課題

今年度の夏季研修会は、講師に延岡市立延岡小学校エリアコーディネーター宮田雅子氏をお招きし、「特別支援教育に関わって ～具体的な事例を通して思うこと～」という演題のもと、講演をしていただいた。「具体的な実践事例がたくさんあり大変参考になった」「ハンドブックを今後より積極的に活用していきたい」などの感想をいただくことができた。本エリアでは、2学期開始時期が地区によって異なるため、夏季研修会の実施日の調整が課題である。

また、合同作品展は、カルチャープラザ延岡を会場とし、部会所属校に在籍する幼児児童生徒が作成した作品を2日間にわたって掲示する予定である。前年度の反省を受けて、今年度、延岡にある九州保健福祉大学（2024年4月より九州医療科学大学に名称変更）へ合同作品展についての広報活動も行った。今後は、他県の例を参考に、大学との連携も視野に入れてどう活動していくかが課題である。

さらに、次年度は延岡・西臼杵エリア部会が主催となり、研究大会が開催される。中核となる県立延岡しろやま支援学校と小中学校がしっかりと連携を図り、より充実した研究大会となるよう計画的に運営を進めていきたい。